

お知らせ

令和8年(2026年)2月27日

第71回前島密賞 受賞者決定について

本日、公益財団法人通信文化協会が、報道資料「第71回前島密賞 受賞者決定について」を、総務省記者クラブ及び日本郵政株式会社記者クラブに配布しております。

テレコムサービス協会関係業務では、下記のとおり受賞の栄誉に浴しました。

※ 所属・職歴は、推薦時

前島密賞（個人）：北岡 隆之 氏

前（一社）テレコムサービス協会 会長
(株)インテック取締役会長

[功績]

広域ネットワークを活用した付加価値サービス提供による社会の利便性向上により我が国の経済を拡大させ、情報通信事業の普及及び発展に貢献

1984年(株)インテック入社以降、日本初の特別第二種電気通信事業者として、広域仮想ネットワークの提供、IPネットワークサービス展開、トータルEDIシステムやセキュリティソリューションの提供に尽力した一方、テレコム関係団体の代表として、ICTを通じた地域経済の活性化など、情報通信事業の普及、発展に貢献した。

前島密賞 奨励賞：井原 龍二 氏

(一社)テレコムサービス協会MVNO委員会消費者問題分科会主査
イオンリテール(株)イオンモバイル事業部イオンモバイル商品統括マネージャー

[功績]

MVNO業界全体の品質向上と信頼性確保に波及効果をもたらし、通信市場の持続的成長と健全化に貢献

2014年、「イオンスマホ」のサービス担当以降、様々な取り組みにより「格安スマホ」の概念を社会に定着させるなど市場拡大に貢献する一方、MVNO委員会消費者問題分科会主査として消費者問題の解決に取り組み、業界の健全化に貢献。

今後もICT市場の活性化や利用者利便の向上に貢献することが期待される。

【参考】

公益財団法人通信文化協会の報道資料（抜粋）を次ページ以降に添付しました。

参照 <https://www.tsushinbunka.org/award/>

(担当) 一般社団法人テレコムサービス協会事務局 正村 電話 03-5644-7500

報道資料

第71回前島密賞 受賞者決定について

公益財団法人通信文化協会では、第71回（令和7年度）の前島密賞の受賞者を別紙のとおり決定しました。贈呈式は、4月9日（木）に行います。

記

1 前島密賞の趣旨等

前島密賞は、逓信事業の創始者「前島密」の功績を記念し、その精神を伝承発展せしめるため昭和30年（1955年）に設けられたもので、以降毎年度、情報通信事業（郵政事業を含む）及び放送事業の進歩発展に著しい功績のあった者に贈呈しています。

また、第66回より、新たに「奨励賞」を創設し、情報通信・放送分野において活躍し、今後もお一層の功績が期待される者に贈呈しています。

情報通信・放送は、社会経済活動や日常生活はもとより非常災害時においても欠かすことのできない重要なインフラであるとともに、重要なコミュニケーションの媒体です。通信の役割が益々重要になってきており、大量の情報が取り扱われています。一方、セキュリティ対策も大きな課題となっているところです。

このような状況の中、今回は、情報通信サービスの維持・発展、生体電磁環境研究、経済的かつ小型・低消費電力な光ネットワークシステムの開発や次世代の放送サービスの実現に向けた技術開発のほか、放送技術の国際標準化への取り組みなど、時代の要請にかなった功績となっております。

通信文化協会は、引き続き通信・放送文化の発展のために取り組んでまいります。

2 受賞者の概要

(1) 前島密賞

17 29名 1団体

- ① 情報通信・放送分野において、長年に亘り多大な功績のあった者、先駆的な研究開発を行った者など。
- ② 通信・放送の提供や維持に貢献があった者、地域のインフラとして地域貢献に資する功績があった者など。

なお、副賞として、元日展理事、日本芸術院賞・恩賜賞受賞 高橋剛氏作のメダル（ただし、共同研究・共同行為・団体による受賞者は金一封）を贈呈します。

(2) 奨励賞

5件 5名

- ① 若手経営者として活躍している者、現場の第一線で活躍している者。
- ② 先駆的な研究開発を行った者。

なお、副賞として、前島密賞のメダルの意匠を入れた楯を贈呈します。

3 選考要領

毎年、当該年度の実施要領に示す推薦機関から受賞候補者の推薦を受け、選考委員会の議を経て理事会で決定します。

4 贈呈式

- (1) 日時
令和8年4月9日(木) 午前10時45分
- (2) 場所
KKRホテル東京
(千代田区大手町1-4-1)

5 協会の定款及び前島密賞規程

- 公益財団法人通信文化協会 定款 第3条
本法人は、郵政博物館の運営、前島密賞の贈呈、通信文化の普及・発展等に関する事業を行い、もって我が国の手紙等文字コミュニケーション文化と情報通信・放送文化の向上に寄与することを目的とする。

- 前島密賞規程(抄)
第2条 前条の賞は、前島密賞及び奨励賞とし、それぞれ次の各項に該当する者に贈る。
 - 2 前島密賞
情報通信・放送に関わる次の各号ごとに、特段の功績があったと認められる者。
 - (1) 情報通信ネットワークの提供及びユニバーサルサービスの維持のために顕著な功績があった者
 - (2) ICT(情報通信テクノロジー)に係わるイノベーションを立案し、ネットワーク社会の進歩発展に顕著な功績があった者
 - (3) ネットワーク社会の進歩発展又はコミュニケーション文化の振興・発展に関し、顕著な功績があった者
 - 3 奨励賞
情報通信・放送分野において、現に活躍するとともに実績を上げており、今後もなお一層の功績が期待される者。

[連絡先]	公益財団法人通信文化協会 前島密賞事務局 小林 〒113-8139 東京都文京区湯島 4-5-16 TEL : 03-5809-7148
-------	----------------------------------------------------------------------------

1 第71回(令和7年度)前島密賞 受賞者一覧
推薦10機関 17件 29名 1団体

(敬称略、年齢:2026年4月1日現在)

推薦機関	受賞者名	功績	対象	功績概要(推薦調書功績タイトル)	主な職歴等
1 総務省	① 水野 麻弥	2号	個人	テラヘルツ波帯における実験の高精度ばく露評価の実現による生体電磁環境研究の先導	国立研究開発法人情報通信研究機構 電磁波研究所 電磁波標準研究センター 電磁環境研究室研究マネージャー
	② 国立研究開発法人情報通信研究機構 DeepProtect 開発チーム	2号	団体	プライバシー保護連合学習システムDeepProtect の開発	代表: 大久保 美也子 (国立研究開発法人情報通信研究機構 サイバーセキュリティ研究所 セキュリティ基盤研究室 主任研究員)
	③ みやじ 宮地 信史	3号	個人	ITU-TIにおけるケーブルテレビ技術の標準化活動の推進・牽引	KDDI(株)先端技術統括本部 先端技術研究本部 本部長
2 日本郵政(株)	① つげ 柘植 芳文	1号	個人	郵便局を「地域の拠り所」とする取組みなど価値創造によるユニバーサルサービスへの多大なる貢献	元郵便局(株)名古屋北部地区連絡会地区統括局長 元参議院議員、元総務副大臣
	② とまき 戸巻 悟	1号	個人	大規模郵便局における円滑な業務運行、東日本大震災時の復旧・復興及び女性活躍推進に尽力	元日本郵便(株) 仙台中央郵便局長
	③ いちむら 市村 晃	1号	個人	書状区分機の利活用による郵便オペレーションの効率化及び安定した業務運行に貢献	日本郵便(株) 新潟郵便局郵便部シニアスタッフ
3 NTT(株)	① はしもと 橋本 信	1号	個人	情報通信事業の発展に資する功績	元日本電信電話(株) 常務取締役
	② すだ 須田 祥生 きくち 菊池 清史 おかもと 岡本 聖司	2号	共同研究	小型省電力OOLS(Optical Open Line System)実用化	NTT(株) IOWNプロダクトデザインセンタ 担当部長
					NTTインベティブデバイス(株) 第一事業部 部門長
					NTT(株) 未来ねっと研究所 主任研究員
	③ おち 越智 大介 やまだ 山田 直治 みやま 宮木 健一郎 たきむら 滝村 祥司 いくた 生田 友裕	2号	共同研究	人々の行動データに基づく顧客理解エンジンdocomo Senseの開発と実用化	株NTTドコモ サービスイノベーション部 担当部長
					株NTTドコモ データプラットフォーム部 担当部長
株NTTドコモ サービスイノベーション部					
4 日本放送協会	① やまだ 山田 敦子	3号	個人	選挙報道・音声表現の深化と女性アナウンサー活躍への先駆的貢献	元日本放送協会アナウンス室長
	② いかわら 岩村 俊輔 いちがや 市ヶ谷 敦郎 ねもと 根本 慎平 こんどう 近藤 雄一	2号	共同研究	マルチレイヤ符号化を用いた次世代映像符号化技術の研究開発	日本放送協会 放送技術研究所 テレビ方式研究部 副部長
					日本放送協会 放送技術研究所 テレビ方式研究部 部長
					日本放送協会 放送技術研究所 テレビ方式研究部
					日本放送協会 放送技術研究所 テレビ方式研究部
5 (一財)日本ITU協会	にしだ 西田 幸博	3号	個人	放送の将来を見据えた放送技術の国際標準化への多大な貢献	日本放送協会 放送技術研究所 フェロー
6 (一社)日本民間放送連盟	ひわら 檜原 麻希	1号	個人	ニッポン放送「ラジオ・チャリティ・ミュージックソン」などラジオの価値向上への取り組みおよび民放連での各種活動	株ニッポン放送 代表取締役社長 (一社)日本民間放送連盟 副会長、ラジオ委員長、ジェンダー平等推進プロジェクト座長
7 (一社)テレコムサービス協会	きたがた 北岡 隆之	1号	個人	広域ネットワークを活用した付加価値サービス提供による社会の利便性向上により我が国の経済を拡大させ、情報通信事業の普及及び発展に貢献	株インテック取締役会長 前(一社)テレコムサービス協会 会長
8 (一社)電波産業会	かんかく 勘角 幸弘	2号	共同研究	先進レーダ衛星「だいち4号」(ALOS-4)による合成開口レーダ観測幅の拡大及び衛星・地上局間の直接伝送速度高速化による安全・安心な生活への貢献	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門 先進レーダ衛星プロジェクトチーム プロジェクトマネージャ/衛星利用運用センターALOS-2ミッションマネージャ
	もとおか 本岡 毅				国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門 先進レーダ衛星プロジェクトチーム ファンクションマネージャ/地球観測研究センター技術領域主幹
	しらすか 白坂 道明				三菱電機(株)鎌倉製作所 衛星情報システム部 Associate Expert
	なかむら 中村 聖平				三菱電機(株)鎌倉製作所 衛星情報システム部 技術第二課長
	みやま 宮坂 賢治				三菱電機(株)鎌倉製作所 衛星機器第一部 技術第一課長
9 (一社)日本ケーブルテレビ連盟	たるたに 樽谷 篤明	1号	個人	ケーブルテレビ事業においてFTTH化・無線利活用を推進し、事業拡大と業界振興に貢献	姫路ケーブルテレビ(株) 取締役相談役 (一社)日本ケーブルテレビ連盟 監事 (一社)日本ケーブルテレビ連盟委員会 委員
10 (公財)通信文化協会	たいら 平 勝典	1号	個人	郵政事業の発展に資する基盤構築等に多大な貢献	元郵政大臣官房人事部管理課長 元郵政省 東北郵政局長

功績欄: 1号は「前島密賞規程第2条第2項第1号」(事業業績) 8件 8名
2号は「前島密賞規程第2条第2項第2号」(研究開発) 6件 18名 1団体
3号は「前島密賞規程第2条第2項第3号」(文化振興) 3件 3名

個人 12件 12名
共同 4件 17名
団体 1件 1団体
合計 17件 29名 1団体

2 第71回(令和7年度)前島密賞・奨励賞受賞者一覧
推薦5機関 5件 5名

(敬称略、年齢:2026年4月1日現在)

推薦機関	受賞者名	対象	功績概要(推薦調書功績タイトル)	主な職歴等
1 総務省	いそはら たかまさ 磯原 隆将	個人	セキュリティに関わる国際標準化活動への貢献	㈱KDDI総合研究所ユーザブルトラストグループ グループリーダー
2 日本郵政(株)	かまなか みさ 鎌仲 美早	個人	近畿管内の郵便局窓口社員のコンサルティングサービス向上に尽力	日本郵便(株)河内長野美加の台郵便局課長代理
3 NTT(株)	やまかわ たかし 山川 高志	個人	量子計算機の能力と暗号の安全性の関係解明に関する研究開発	NTT(株) 社会情報研究所 上席特別研究員
4 (一社)電気通信事業者協会	まつざき こうへい 松崎 康平	個人	高効率な圧縮伝送を実現する点群処理技術の研究開発	㈱KDDI総合研究所 XR部門 3D空間伝送グループ コアリサーチャーター
5 (一社)テレコムサービス協会	いほら りゅうじ 井原 龍二	個人	MVNO業界全体の品質向上と信頼性確保に波及効果をもたらし、通信市場の持続的成長と健全化に貢献	イオンリテール(株)イオンモバイル事業部 イオンモバイル商品統括マネージャー (一社)テレコムサービス協会 MVNO委員会消費者問題分科会主査

個人 5件 5名

3 第71回(令和7年度) 前島密賞 受賞者 功績

(敬称略、所属・職歴は推薦時)

7 一般社団法人テレコムサービス協会推薦

[個人：功績1号]

北岡 隆之	(株)インテック取締役会長 前 (一社) テレコムサービス協会 会長
【広域ネットワークを活用した付加価値サービス提供による社会の利便性向上により我が国の経済を拡大させ、情報通信事業の普及及び発展に貢献】 1984年(株)インテック入社以降、日本初の特別第二種電気通信事業者として、広域仮想ネットワークの提供、IPネットワークサービス展開、トータルEDIシステムやセキュリティソリューションの提供に尽力した一方、テレコム関係団体の代表として、ICTを通じた地域経済の活性化など、情報通信事業の普及、発展に貢献した。	

1984年、株式会社インテック入社以降、1985年第1号登録を受けた「特別第二種電気通信事業」に関して、SE及び営業として早期から携わるとともに、パケット交換サービス、ISDNサービス、フレームリレーサービス、ファクシミリ配信サービスや割安な全国一律料金を実現したファクシミリ蓄積交換サービスの開始などに深く関わり、VAN運営会社を設立するなど付加価値通信サービスの推進に取り組んだ。

株式会社インテック コミュニケーションズ時は、ネットワーク事業に加え、データセンターやクラウド、セキュリティやECといった幅広い事業を展開し、東京電力や北陸電力と合併会社を設立するなど、多拠点での事業継続性の実現に尽力した。

株式会社インテック代表取締役社長時は、幅広い事業領域で、EDIサービスを業界VANや個別企業間取引のインフラとして提供し、利便性向上、「コンピュータ・ユーティリティ」の実現に向け多大な貢献を果たした。

一方、協会の設立当初から協会活動に携わり、2020年に理事・副会長、2021年から4年にわたり会長を務め、情報通信の高度化、通信料金の低廉化及びGIGAスクールの推進などに携わり、関係業界の中心的な存在として、電気通信市場の健全な公平競争制度の維持に貢献するとともに、特に地方支部会員の活動充実に積極的に取り組んだほか、ICTを通じ我が国のインターネットの安心安全な利用秩序の維持などに尽力した。

さらに、電気通信サービス向上推進協議会会長として健全な情報通信の普及に尽力したほか、インターネット上の違法・有害情報対応を積極的に実施するなど、ICTの普及及びICTを通じて地域経済を活性化させ、我が国の経済を拡大させるなど、情報通信事業の普及、発展に関して多大なる貢献をした。

4 第71回(令和7年度) 前島密賞 受賞者 功績

《 奨励賞 》

(敬称略、所属・職歴は推薦時)

5 一般社団法人テレコムサービス協会推薦

[個人]

井原 龍二	イオンリテール(株)イオンモバイル事業部 イオンモバイル商品統括マネージャー (一社)テレコムサービス協会 MVNO委員会消費者問題分科会主査 ・2025年 テレコムサービス協会功労者表彰 他1件
<p>【MVNO業界全体の品質向上と信頼性確保に波及効果をもたらし、通信市場の持続的成長と健全化に貢献】</p> <p>2014年、「イオンスマホ」のサービス担当以降、様々な取り組みにより「格安スマホ」の概念を社会に定着させるなど市場拡大に貢献する一方、MVNO委員会消費者問題分科会主査として消費者問題の解決に取り組み、業界の健全化に貢献。今後もICT市場の活性化や利用者利便の向上に貢献することが期待される。</p>	

2014年に「イオンスマホ」のサービス担当として、MVNO市場の転換点となる革新的な通信サービスの社会実装を実現した。当時のMVNO市場は、法人利用やモバイルルーター中心で、一般消費者にはほとんど認知されておらず、SIMフリー端末の流通も限られ、契約や設定の難しさから利用者層はITリテラシーの高い一部に限られていた。こうした状況の中、SIMフリー端末とMVNO通信サービスをセットにし、低廉な価格設計と全国のイオン店舗での対面サポート体制を構築することにより初心者層や高齢者層を含む幅広い層のMVNOサービス利用に繋げ、「格安スマホ」という言葉と概念を社会に定着させ、その後の市場拡大に大きな影響を与えるなど、MVNOの社会的認知と信頼性を飛躍的に高めた。

2019年4月、総務省を始め関係機関との情報共有と、消費者問題全般の課題抽出、問題点分析を行うMVNO消費者問題分科会主査に就いた後、警察庁主催のフォーラムでの「MVNOの不正利用防止対策」のプレゼン、パネルディスカッションのパネラーとして参加するなどMVNO業界の犯罪に対する対策を広めることに貢献した。また、国民生活センターの相談員には、消費者トラブルに対するMVNO業界の取組について広く理解していただくことに貢献した。

さらに、総務省が主催するワーキング等の場にオブザーバーとして参加し、MVNO業界の苦情削減の取組と青少年が安心・安全にスマートフォンが使用できる環境を広めることに貢献した。

今後もMVNO委員会の主要メンバーとして、業界課題の解消を目指すとともに、サービス卸に係る運用改善に向けた取り組み等により、利用者料金の低廉化及び利用者利便の向上等ICT市場の活性化などさらなる貢献が期待される。